

塩田平

宮坂静生

前山寺

未完こそ塔のころや笹鳴きす

沖繩の石敷き無言館斑雪

長岡義尚(呂宋島で死、二十六歳)

鶯や自我像と描き君征きし

蜂谷清(レイテ島で死、二十二歳)

ちよぼ口のばあちやん温き遺作かな

伴野敬一を思い

死は不揃三月佐久の雲を追ひ

山菜莢の根回り花粉つもりる

天上の鼓連打や蓮華草

姨捨

花前の姨岩なにか孕みをる

\*

花いまだ千鳥ヶ淵の雨が好き

星野立子賞表彰式

受賞者は流線形の春の服

花の上野箱男つれ箱女

脊柱にからだ凭れて花ぐもり

貯へのなき身や蝶に押されたる

海に霧コロナ怯えの春休み

サッカーボール黄色憲法記念の日

